

## ミャンマー研修団「富山のくすり」を学ぶ

「富山・ミャンマー伝統医薬品・プライマリーヘルスケアシンポジウム2017」報告

発行：日本置き薬協会 事務局

富山大学和漢医学総合研究所では、2014年度からJICA（国際協力機構）の委託事業「ミャンマーにおける伝統医薬品の品質改善を通じたプライマリーヘルスケア向上事業」に取り組んでいる。事業内容は、同国で配置薬システムを活用した伝統医薬品の普及啓発や「生薬局法」の作成支援等である。ミャンマーの事業主体は「保健・スポーツ省」で、このほど、同省の担当官ら16名が研修団を組織し富山県各地を6月19日より27日にわたり訪問された。研修先は富山大学の関連施設や富山県の研究機関、県内製薬企業で、(株)富士薬品の協力を得て配置販売実地研修も行われ、富山の伝統医薬品や配置薬システムなど、富山ならではの薬の知識を深めた。

6月26日には、同事業のシンポジウムが富山市内で開催され、その内容について報告する。

基調報告 「JICA 草の根技術協力事業～ミャンマーにおける伝統医薬品の製造管理及び品質管理を通じた保健衛生向上事業」

富山大学和漢医薬総合研究所 JAICA プロジェクトマネージャー 紺野勝弘准教授

セッション1 「富山・ミャンマーの保健医療の現在と未来」

座長 富山県厚生部くすり政策課長 田中達也氏

講演1 「世界の規制水準の向上に向けたアジア医薬品・医療機器トレーニングセンターの取組」

PMDA 国際協力室調整専門員 坂本雄氏

講演2 「ミャンマーFDAにおける食品および医薬品の規制管理」

ミャンマー保健・スポーツ省食品医薬品局ヤンゴン支局次長  
オンマー・ソウ・ウイン氏

セッション2 「富山・ミャンマーの伝統医薬品の現在と未来」

座長 富山大学和漢医薬研究所 當銘一文准教授

講演1 「現在の配置薬のかたち」

新新薬品工業(株)受託推進部長兼開発担当部長 江藤敬太郎氏

講演2 「ミャンマーの伝統医療とその最近の発展」

ミャンマー保健・スポーツ省伝統医療局研究開発部副部長  
テイン・ゾウ・リン氏

講演3 「天然物化学研究におけるミャンマーの大学との取り組み」

富山大学和漢医療総合研究所 准教授 伊藤卓也氏

特別講演 「江戸時代から伝わる置き薬はアフリカで広がるか？」

NPO 法人アフリメデイコ代表 町井恵理氏

本件に関するお問合せ先 日本置き薬協会 事務局

〒114-0023 東京都北区滝野川3-56-9

TEL. 080-6789-6165 FAX. 048-251-965